

製品名: AKT ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01622**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 56 kDa; Observed MW: 56 kDa

抗原情報

遺伝子名	AKT3
別名	MPPH; PKBG; MPPH2; PRKBG; STK-2; PKB-GAMMA; RAC-gamma; RAC-PK-gamma
遺伝子 ID	10000
SwissProt ID	Q9Y243
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

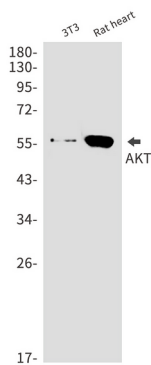
AKT3は、AKTキナーゼと呼ばれる3つの密接に関連するセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ（AKT1、AKT2、AKT3）の1つである。

り、代謝、増殖、細胞生存、成長、血管新生など、多くのプロセスを制御します。これは、下流の様々な基質のセリンおよび/またはスレオニンリン酸化を介して媒介されます。これまでに 100 を超える基質候補が報告されていますが、そのほとんどはアイソフォーム特異性が報告されていません。AKT3 は、最も研究の進んでいない AKT アイソフォームです。AKT3 は脳の発達に重要な役割を果たし、悪性神経膠腫細胞の生存に不可欠です。AKT3 アイソフォームは、IL13 を介した MMP13 のアップレギュレーションとダウンレギュレーションの鍵となる分子である可能性もあります。ミトコンドリア生合成と、成長因子によって引き起こされる細胞エネルギー需要の増加との調整に必要です。RNA 干渉によるダウンレギュレーションにより、BAD のリン酸化形態の発現が減少し、カスパーゼ依存性アポトーシスが誘導されます。

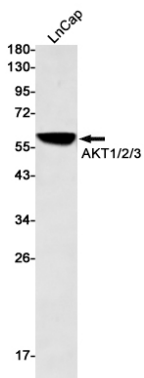
研究分野

シグナル伝達

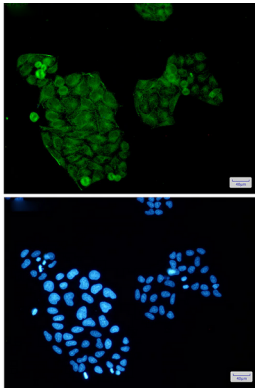
画像データ



AKT 抗体を使用した 3T3 ラット心臓溶解物中の AKT のウエスタン ブロット分析。



AKT 抗体を使用した LnCap 溶解物中の AKT1/2/3 のウエスタン ブロット分析。



AKT 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の AKT1/2/3 (緑) の免疫細胞化学分析